

令和4年度南大沢スマートシティ協議会

第2回協議会

2022年11月4日（金）13:30-15:00

第2回 南大沢スマートシティ協議会

#	議 事
1	協議会の開催概要
2	第1回協議会・部会の振り返り
3	本年度の実証内容
4	イベントの実施概要
5	南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）改定方針
6	その他

1. 協議会の開催概要

令和4年度の協議会の進め方・討議内容

以下の内容について、今年度は4回を目途に協議会を開催予定

#	開催時期	詳細
1	第1回協議会 <8月8日（月）>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催概要 ・実証実験の計画（企画概要） ・実施計画Ver2のパブコメ報告
2	第2回協議会 <11月4日（金）>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度実証内容と部会の開催状況 ・南大沢スマートシティイベント（オープンハウス）実施概要 ・実施計画（Ver3）改定方針
3	第3回協議会 <1月下旬を予定>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の検討報告 ・実証地意見の実施（速報） ・実施計画（Ver3）中間まとめ
4	第4回協議会 <3月上旬を予定>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の検討報告 ・実証実験の実施（最終報告） ・実施計画（Ver3）最終まとめ

} 本日

※上記の討議内容は、現時点での予定であり、今後の協議会での議論や事業者の技術・サービスの状況等により変更可能性あり

1. 協議会の開催概要

令和4年度の協議会スケジュール（案）

主たる業務項目		2022年					2023年			
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 協議会 ・部会	ア. 協議会	第1回			第2回		第3回		第4回	
	イ. 部会		第1回～ 第4回		第5回～ 第7回		第8回～ 第11回			
	ウ. 広報			協議会ホームページの管理・更新等の情報発信					リーフレット作成	
(2) 実証 実験	ア. 計画	計画書作成	関係者との調整・実証準備							
	イ. 実施				実証実験実施					
	ウ. 効果検証					効果検証				
(3) 実施 計画	ア. 改定			改定案の作成						公表
(4) その他	ア. 次年度に向けた準備				社会実装に向けた検討・準備					

※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

2. 第1回協議会・部会の振り返り

第1回協議会の振り返り

第1回協議会委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

協議会委員からのご意見

協議会 運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本年度は来年度以降の公的関与の減少や社会実装を見据えて協議会を推進
先端技術の実証	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電動キックボードについて、走行可能な場所と各施設のルール順守の確実な周知が必要 ■ 昨年度実施の電動シェアサイクルとの棲み分け（場所、地形、年齢層等）が必要 ■ 利用が難しい高齢者等に対する安全面への配慮の周知徹底が必要 ■ 普段使わない人に対するメリットの整理や、地域の理解を得る工夫が必要 ■ 丘陵地であり、高齢者が多い南大沢に適するか検討が必要 ■ ラストワンマイルの手段としての位置づけの周知が重要 ■ デジタルサイネージについて、住宅団地等と連携した居住者が必要な情報や、来訪者への異なる情報の検討が必要 ■ 各実証について、継続性が重要であり、これまでの繋がりや全体としての整理が必要 ■ 実装に向けてのフォローや、街としての取組の方向性の検討が必要
ICTインフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後の具体検討において、様々なサービスの組み合わせや将来的な拡張性の検討が必要 ■ 今年度のアウトプットの明確化が必要
認知度向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープンハウスによる継続した情報発信や、街にもたらす効果を意識したコンテンツ検討が重要

協議会としての対応

<ul style="list-style-type: none"> ■ 来年度以降の各施策の社会実装化や持続可能な運用の在り方を検討・議論しながら、協議会や部会を推進
<ul style="list-style-type: none"> ■ 電動キックボードは、関係者と十分に事前討議を行い、走行場所の検討やルール・マナー啓発等の安全面への配慮を十分に行った上で実証を進める ■ 関係者と協議・連携しながら電動シェアサイクルとの棲み分けや連携について継続的に検討していく ■ イベントでの体験会の実施やPR活動等により、幅広い周知に努める ■ 実証の検証等を踏まえ、南大沢での適合性や利便性を確認し検討していく ■ デジタルサイネージは、対象者や設置場所に応じた情報提供内容について施設管理者等へのヒアリングや関係者との協力を踏まえて検討していく ■ 過年度からの継続性や来年度以降の持続性を考慮し、実証や効果検証を行いながら、社会実装化を進めていく
<ul style="list-style-type: none"> ■ R5年度以降のICTインフラの実現に向けて、有益かつ多様なサービスの具体的内容や実現性のあるロードマップについて、今年度の検討により精緻化していく
<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントの開催や多様な広報活動等による幅広い周知・PRのほか、効果的かつ有益なコンテンツについて、継続的に検討していく

2. 第1回協議会・部会の振り返り

部会の開催状況

3つの部会で第1回の部会を開催済み。R4年度の実証実験の実施に向けた検討を推進中。モビリティ部会は先行して第2回の検討会まで開催済み

部会	開催日	主な討議内容
モビリティ部会	第1回 (2022年9月7日)	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験（電動キックボード）の内容・スケジュールに関する討議 南大沢スマートシティイベントの計画
	第2回 (2022年10月25日)	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験（電動キックボード）の内容・スケジュールに関する討議 南大沢スマートシティイベントの開催概要
まちの賑わい部会	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験（デジタルサイネージ）の内容・スケジュールに関する討議 南大沢スマートシティイベントの開催概要
情報・その他部会	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験（3D都市データを用いたARナビ）の内容・スケジュールに関する討議 南大沢スマートシティイベントの開催概要

※10月27日（木）14時～14時35分で『元気な街』南大沢協力の会（定例会）にて実証実験の概要をご説明済み

2. 第1回協議会・部会の振り返り

(参考) 第1回部会の振り返り ～モビリティ部会～

第1回部会委員の皆様からいただいた意見を今後の部会運営に生かしてまいります

部会委員からのご意見

実証事業の計画

- 実証事業の推進に関して
 - 地域の現状調査・分析は実装を見据えてやるべき。地域の交通課題、どこに不便があるのか調査が必要。交通事業者の課題、住宅供給側の課題、行政側の課題を議論にのせて欲しい。
 - その他交通とのラストワンマイルの考え方は複数ある。バス停留所から自宅までのラストワンマイルもあり、既存交通の補完という観点も必要。配置場所も議論のポイントであり、需要を見極めた配置が必要。
- 走行エリアの設定に関して
 - 南大沢のどこに走行空間を設けるのか、そこをキックボードで走行させるのかという点も議論が必要。
 - 自転車歩行者専用道はキックボード走れないので、そこを走行出来ないような道路・交通管理者との調整が必要。
- アンケートに関して
 - 現在、交通事業者として住民アンケート（交通課題）を取りたいと考えており、市と調整を進めている状況。住民の実際の交通課題を取りつつ実証実験がどうだったかを検証し、来年度以降に繋げていくべき。
- その他
 - 都と事業者のみで議論しているとローカルな視点が落ちてしまう可能性がある。部会や協議会以外で、議論を行う場が必要。
 - テキサス大学・オースティンは電動キックボードなど大量配置している。キャンパス内に配備する一方で、ボランティアで学生がリバランスに協力する仕組みを入れている。うまく都立大を巻き込めると良い。



部会としての対応

- 実証事業の推進に関して
 - 今後も含め、現状の交通課題や事業者・供給者、行政等の課題を把握するとともに、移動データ等も分析し継続的に運営プランを検討していく。
 - 電動キックボードの配備位置に関して、上記の課題解決のほか、既存交通を補完するラストワンマイルの様々な利用シーンも想定しながら、適切な配置場所の検討や設置の調整を行っていく。
- 走行エリアの設定に関して
 - 市や交通管理者等と協議し、走行可能エリア又は禁止・減速エリアを設定する。
 - 安全な乗り方に関して周知も必要なため、試乗会も開催する。
- アンケートに関して
 - 今年度の電動キックボードの実証では、アンケート等により、利便性や今後の利用意向、認知度の変化等に関して検証していく。その他、ご提案いただいた、交通課題等の幅広いアンケートも検討しながら、今後の取組に繋げていく。
- その他
 - 多面的な視野を持って協議できる関係者を含め、部会や協議会以外の場を検討する。
 - 今後、都立大学での運営方針に併せて、学生にもメリットがあり、協力できる仕組みも検討していく。



スマート シティ イベント

- 期間限定の取り組みは承知したが、一方で常設展示も必要であると認識している。

- 常設展示は、実現の仕方を検討し、今後関係者と調整していく。

2. 第1回協議会・部会の振り返り

(参考) 第1回部会の振り返り ～まちの賑わい部会～

第1回部会委員の皆様からいただいた意見を今後の部会運営に生かしてまいります

部会委員からのご意見

部会としての対応（案）

情報の
掲出

- どういった情報をどの場所に掲出していくかの整理が必要

- 利用者の属性や利用シーンを分析するとともに、掲出する情報内容と掲出までのプロセスについて、各場所の設置管理者も含め協議していく

実証
実験

効果
検証

- 効果検証にあたっては、情報の掲出体制をしっかりと作れたかも検証して欲しい
- 事業者による単なるサービス提供に閉じないように留意して欲しい

- 効果検証のやり方・検証の項目を今後精緻化していくとともに、直接的な関係者等による情報掲出における確認体制について検討する
- 事業者によるサービスに閉じない運用やその方法について、検討・調整していく

- 効果検証にあたっては、費用対効果についても検証して欲しい。将来的な運用イメージについても今後議論ができるとよい

- 費用対効果等の事業性についても検証し、実施事業者や地元関係者等も含め、今後の運用について検討していく

取
組
み
の
継
続
性

- 回遊性向上が重要な課題と認識しており、過年度でもそうした観点を意識した取り組みを続けてきた。こうした継続性や公園などの活用も意識してほしい

- デジタルサイネージの設置場所や掲出情報について引き続き検討し、公園等の地域資源を生かした回遊性や事業の継続性に繋がる実証を検討していく

2. 第1回協議会・部会の振り返り

(参考) 第1回部会の振り返り ～情報・その他部会～

第1回部会委員の皆様からいただいた意見を今後の部会運営に生かしてまいります

部会委員からのご意見

部会としての対応（案）

実証実験

ルート設定

- 本実証では**3Dデジタルマップの有用性を確認することが重要**であり、**ルート選択や安全性への寄与もポイント**になる。スロープ・階段のどちらを使うかに留まらず、**ルートの種類や利用シーンに幅が出る**とよい



- 南大沢駅からプレスコ南大沢へのルート等において、予定した以外のルートの種類や利用シーンの追加を検討し、3Dデジタルマップの有用性も確認する

安全性の担保

- ARナビを利用する際の**安全性についても配慮**して欲しい



- アプリケーションのダウンロード時におけるアラート表示への対応やイベント時における利用者への安全な利用案内や周知を徹底する

情報の利活用

- アプリケーションのダウンロードで**位置情報付き行動情報を取得し、活用するなどの見込み**はあるか。また仮に何等かの情報を協議会としても活用する場合、規約の提示や承諾の取得についても対応が必要になる



- 情報は本実証のみで活用を予定しており、行動情報の取得については検討するとともに、規約や許諾についても整理し対応していく

社会実装の
進め方

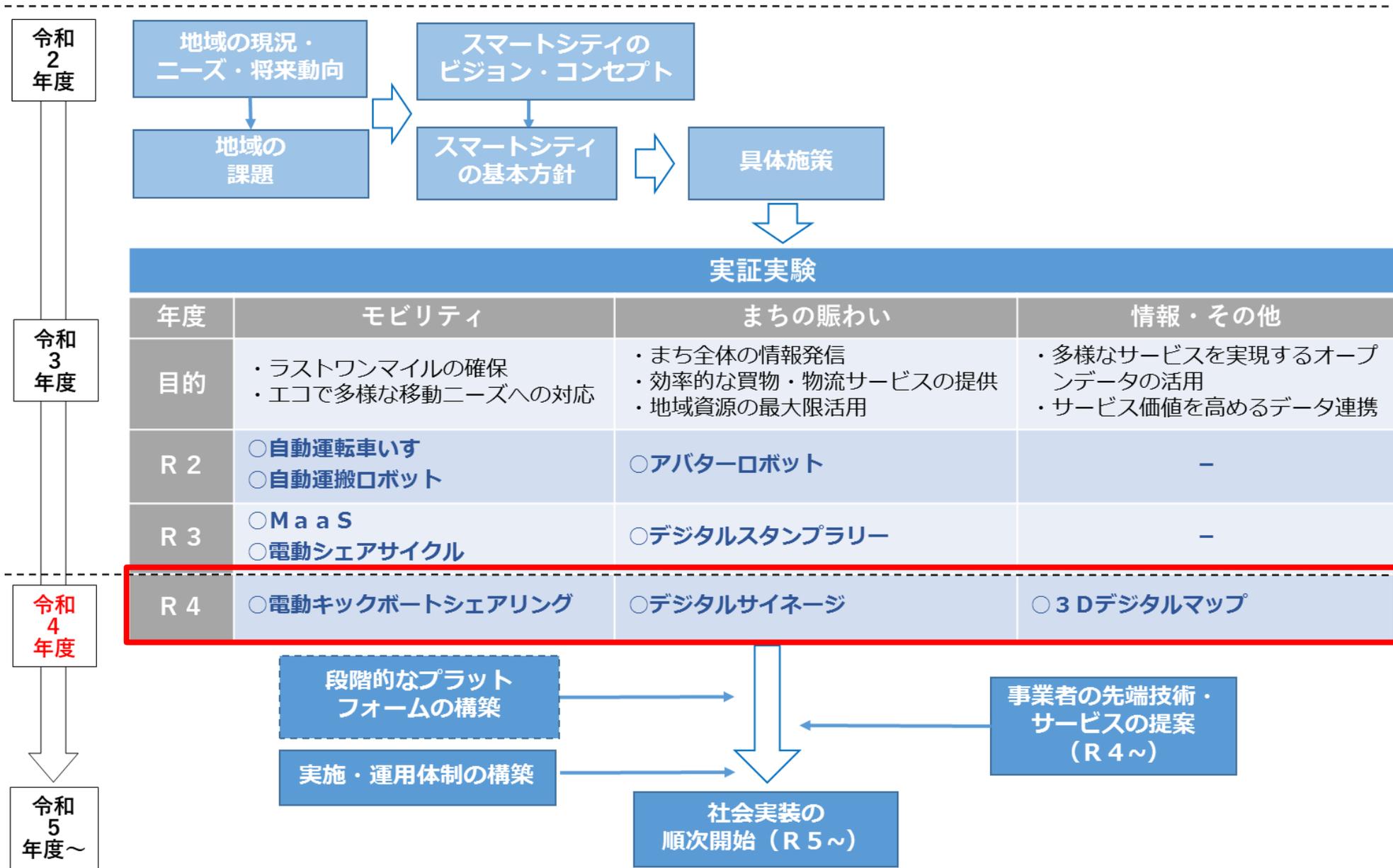
- 将来的に仮に**民間事業者主導で実装**していくことを考えたときに、**どのような将来像が想定**されるのか



- エンタメやコンテンツ系での活用も想定されることから商業施設などでの活用やその他、行政による防災等での利用も想定される

3. 本年度の実証内容

これまでの検討と実証実験



3. 本年度の実証内容 ①電動キックボードシェアリング 実証の目的（1/2）

東京都・南大沢

BRJ

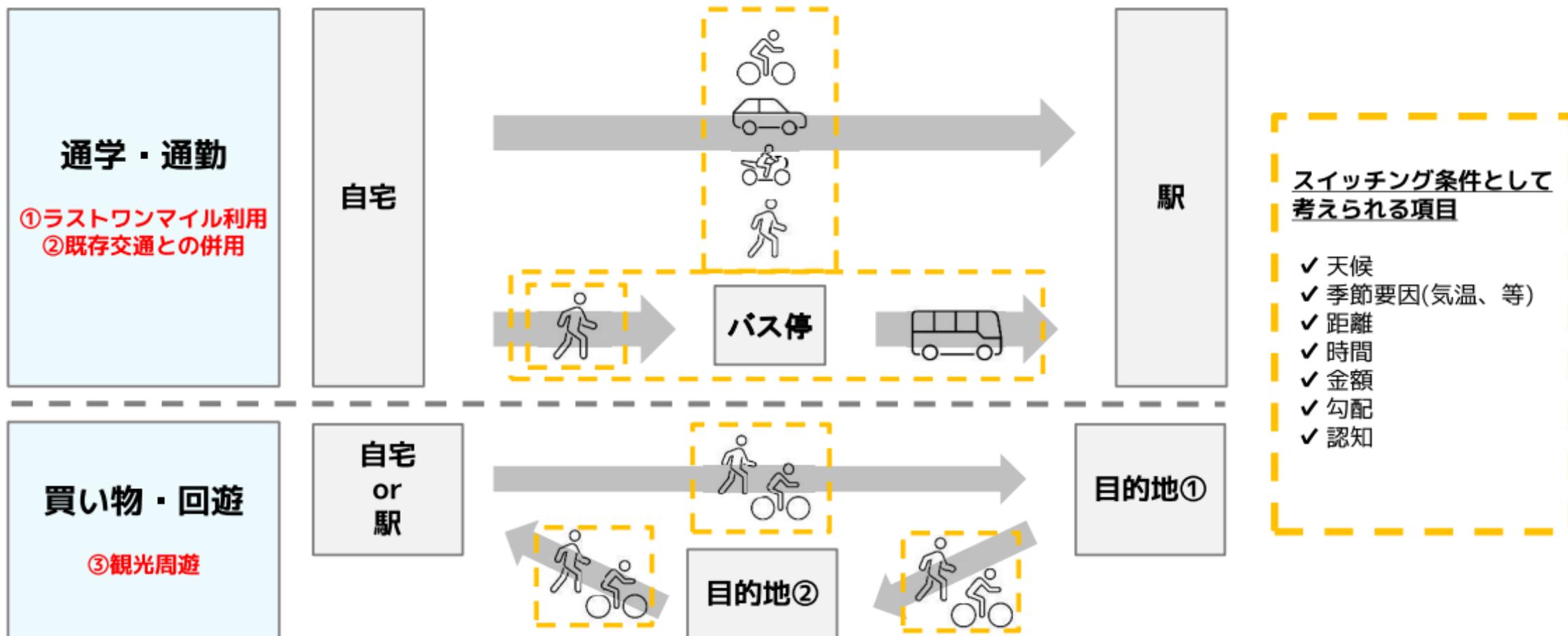
- ✓丘陵地の高低移動の負担軽減、住宅団地から駅やバス停へのアクセス交通の確保
- ✓鉄道とバス、タクシー、自転車等の円滑な乗換、地区内の快適な移動

*東京都『スマート東京実施戦略~令和3年度の取り組み~』より抜粋

南大沢内での
移動負担軽減

- ✓どのような条件であればその他移動手段からのスイッチングが発生するかの検証
- ✓そもそも電動キックボードが移動手段として受け入れられるかの検証

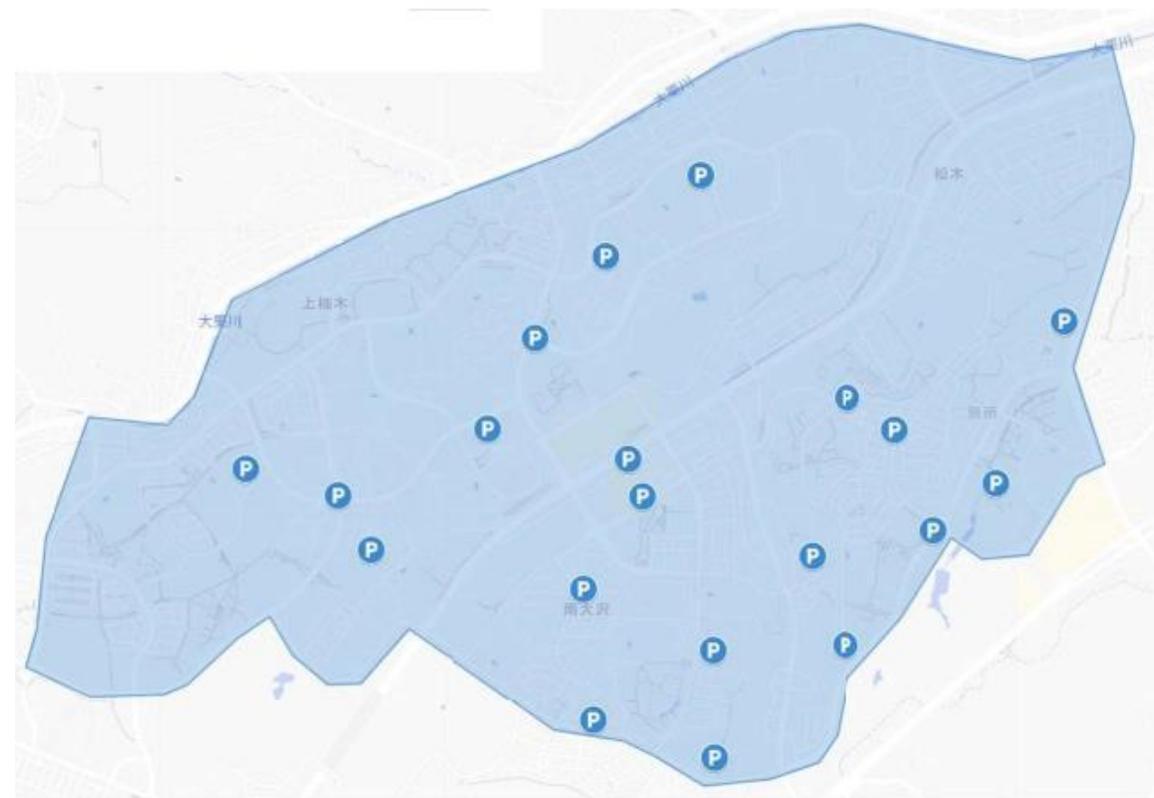
3. 本年度の実証内容 ①電動キックボードシェアリング 実証の目的 (2/2)



3. 本年度の実証内容 ①電動キックボードシェアリング サービス予定

サービス予定

- 開始時期
 - 11月28日（月）想定
- ポート
 - 約23箇所
- 車両数
 - 約50台
- 料金体系
 - ロック解除0円、1分10円で検討中
 - 都営南大沢団地 → 駅 約8分（80円）
 - 使用状況を加味して料金変更することも検討中
- 補足
 - 速度は時速15km

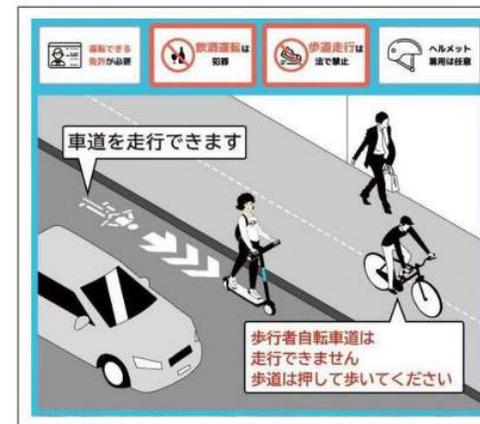


※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

3. 本年度の実証内容 ① 電動キックボードシェアリング 安全に向けた取り組み

安全に向けた取り組み

- ポート展開の順番とテクノロジーを使った制御
 - 駅前、繁華街、飲み屋街を慎重に。
 - GPS走行制限／速度制限
- 営業時間 6:00～22:00
 - 深夜営業を慎重に。
- 利用者へ交通ルールを周知
- 試乗会での安全利用の啓発活動
 - 南大沢では11月、1月、3月に試乗会を実施予定。
- 地域・地元との密なコミュニケーション
- 地域・地元での安全活動



三鷹警察署 交通安全車両パレード



3. 本年度の実証内容 ①電動キックボードシェアリング 定期報告と検証

定期報告内容

● 月次にて下記内容の報告を想定

- ライド数
 - 総ライド数
 - 時間帯毎ライド数
 - ライド時間毎ライド数
- ポート活用回数
 - 総発着回数
 - 時間帯毎発着回数
- 月間アクティブユーザー数
 - 月間アクティブユーザー数
 - 月間アクティブユーザー数の平均乗車回数

● 不定期にて下記内容の報告を想定

- 試乗会を開催し、ユーザー・非ユーザーに対してアンケートを実施
 - サービス内容認知
 - 乗車理由、非乗車理由
 - どんな時に活用しているか、どんなサービスであればもっと活用するか

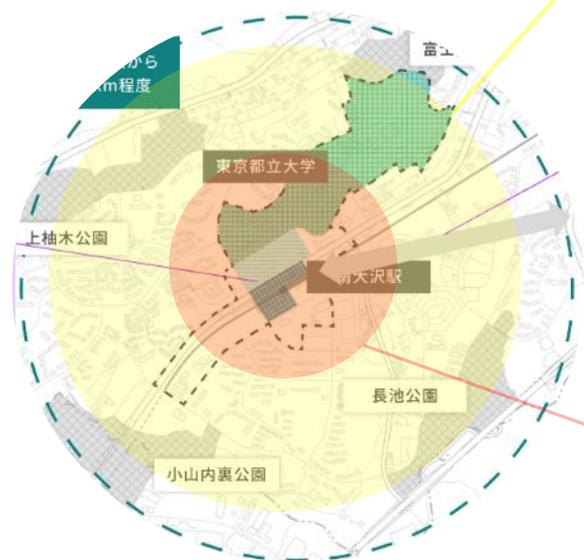
		12月	1月	2月	3月
配置台数（台）	計画	40	40	40	80
	実績				
	差異				
ライド数（回）	計画	1,080	1,620	2430	4320
	実績				
	差異				
平均ライド時間（分）	計画	15	15	15	15
	実績				
	差異				
月間アクティブユーザー数	計画	540	648	720	1440
	実績				
	差異				

※ 数値は別途確定

3. 本年度の実証内容 ②デジタルサイネージ 実証の全体像

南大沢駅周辺エリアにデジタルサイネージを設置し、生活や地域・学校、店舗や各種イベント・キャンペーン情報を提供することで住民・学生・買い物客らに利便性の向上やコミュニティ・イベント参加、消費喚起等を提供する

南大沢駅周辺エリア (団地・都立大・駅前の3エリア)



生活エリア（団地・都立大） - 中型・小型台 (15～20台を想定)



- 生活・地域や学校に関する情報を適時で提供する
- 利便性の向上とコミュニティやイベントへの参加も促す

人口集中エリア（駅前） - 大型台 (4台～6台を想定)



- 店舗やイベント・キャンペーン情報を適時で提供する
- 店舗への誘客や南大沢での消費を喚起する

約**30**SPOT



※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

3. 本年度の実証内容 ②デジタルサイネージ (参考) 活用するデジタルサイネージ筐体

本実証実験では以下 4 筐体を設置場所やニーズに合わせて設置予定



LL20 42インチ

LL20

寸法:1490*633*500(mm)
重量:58.66kg
主な設置先:駅、アミューズメント施設



M10 24インチ

M10

寸法:631*346*300(mm)
重量:19.61kg
主な設置先:コンビニ・カフェ・アミューズメント施設



S10 14.1インチ

S10

寸法:246*350*149(mm)
重量:5.435kg
主な設置先:コンビニ・カフェ



S5 7インチ

S5

寸法:180*195*135(mm)
重量:2.7kg
主な設置先:コンビニ・カフェ

3. 本年度の実証内容 ②デジタルサイネージ (参考) 行政関連の情報掲載例

<一部放映実績>



厚生労働省 | COCOA



神戸市様
| 神戸市防災マイトリアル



厚生労働省様
| 感染拡大防止



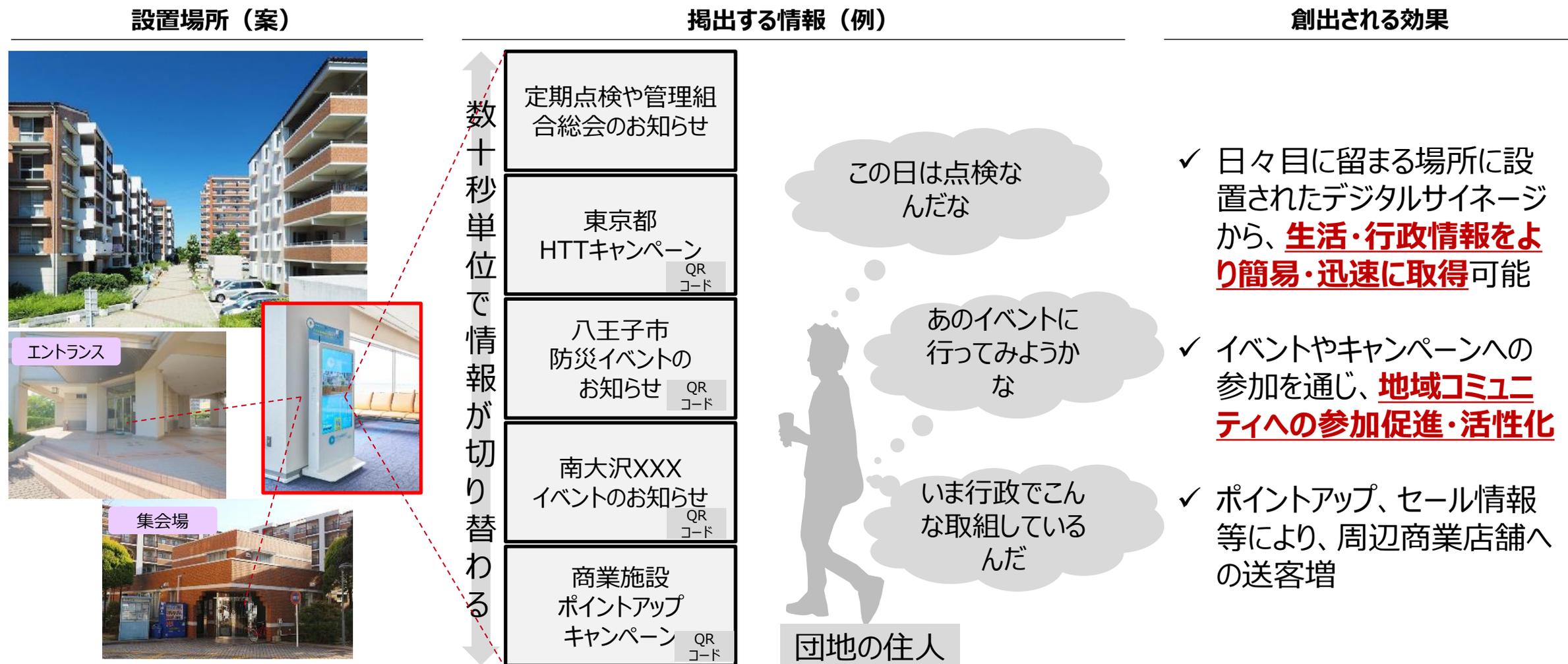
国土交通省様 | 逃げなきゃコール



神戸市 | 神戸市イメージ広告

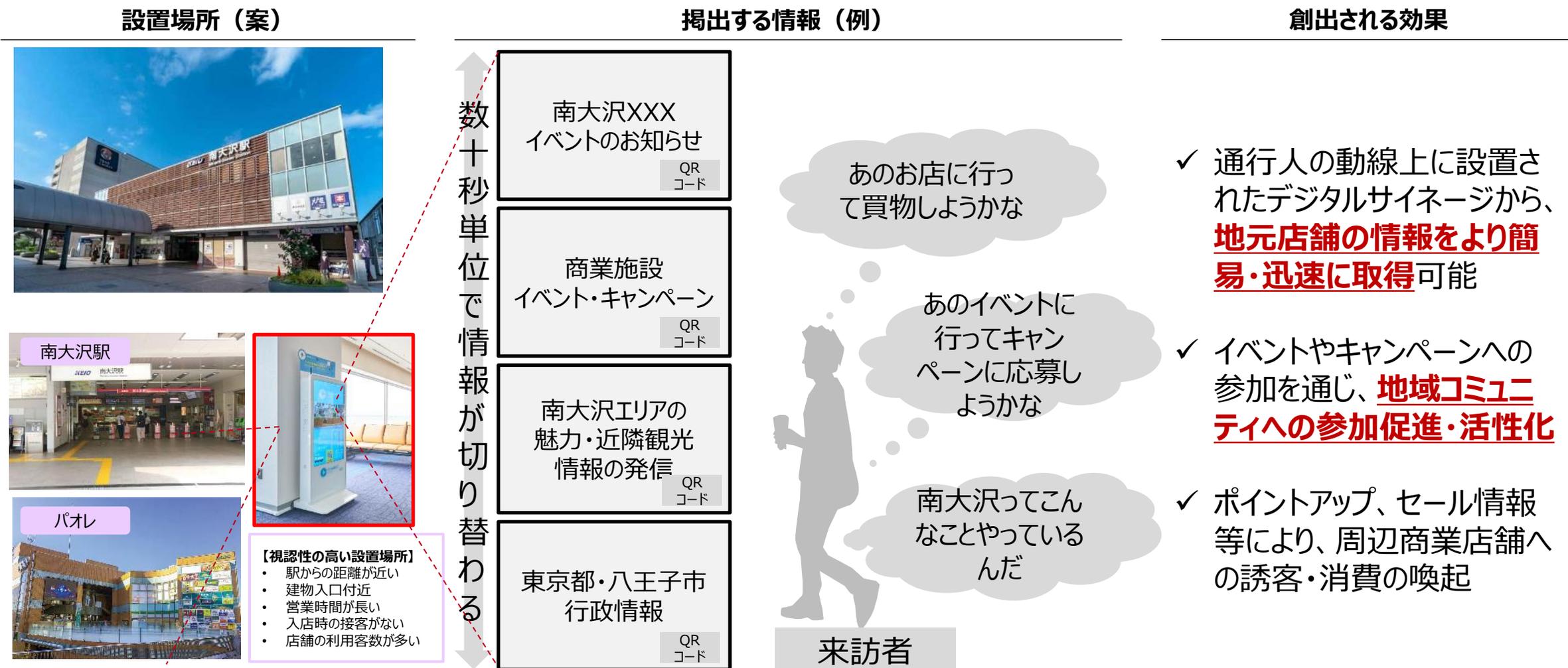
3. 本年度の実証内容 ②デジタルサイネージ 実証詳細（生活エリア例：団地）

団地の住民がよく通るエントランスや集会場にデジタルサイネージを設置し、住民にターゲットを絞った情報を提供することで、簡易・迅速な情報取得や地域コミュニティへの参加促進・活性化を促す



3. 本年度の実証内容 ②デジタルサイネージ 実証詳細（人口集中エリア例：駅前）

来訪者および住民が利用する駅周辺にデジタルサイネージを設置し、イベント・キャンペーンの認知度を向上させることで、地域商業施設等での消費促進・活性化を促す



3. 本年度の実証内容 ②デジタルサイネージ 効果検証の概要（案）

地域の生活情報等を住民や買い物客らの導線上に設置したデジタルサイネージから提供することによる利便性の向上や商業施設の集客・回遊性向上を検証

When Where	日程・場所	2022/11/中旬～2023/1中旬を目途に、①団地エリア、②都立大エリア、③駅前エリアにて実施
Why	目的	①デジタルサイネージを用いた各種情報の効果的な提供を通じた地域課題解決に関する検証、②災害時の情報/電源供給の有効性に関する検証
Who	被験者	南大沢エリアの住民、都立大学学生、商業施設利用者（住民/エリア外からの来訪者）
What 評価	利便性	住民や商業施設利用者のそれぞれに必要な情報を提供出来ていたか？ バッテリーの貸し出しや防災情報等の付加価値を提供出来ていたか？
	地域適合性	地域での生活に求められる情報を提供出来ていたか？ 対象者への効果的な情報発信の在り方における示唆が得られたか？
	持続可能性	サービス維持・拡大のコストや、収益はバランスしているか？
How 検証方法	利便性	・ アンケート・ヒアリング調査：利便性・提供情報に関する確認
	地域適合性	・ アンケート・ヒアリング調査：提供された情報に関する確認
	持続可能性	・ サービスプラットフォームからのデータ収集：バッテリーの貸し出し状況 ・ アンケート・ヒアリング調査広告掲出のニーズ有無の確認

※データ取得可能なものについてはデータを取得し、検証へ活用する

3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ

実証の目的と内容

住民および来訪者に対し、想定シーンや対象者にマッチした移動ルートを、南大沢エリアの3D都市データを用いたARナビを用いて提供することで、容易かつ安全な移動を実現する。

南大沢駅 → フレスコ南大沢

想定シーン

平常時
(ルート①-A)

- ✓ 公共施設等への来訪を目的としたルート案内
(通常/バリアフリールート)

災害発生時
(ルート①-B)

- ✓ 避難所までのルート案内
(バリアフリールート)
- ✓ 避難所の満空情報
(プリセット) を表示

実証内容



実証目的

- ✓ ARナビを通じてバリアフリールートを表示・誘導することで、交通弱者が従来の地図やナビよりも容易・安全に移動可能になるかを検証
- ✓ ARナビで目的地まで誘導することで、従来の地図やナビよりも容易に移動可能になるかを検証

南大沢駅 → 三井アウトレットパーク多摩南大沢

平常時
(ルート②)

- ✓ 三井アウトレットパーク多摩南大沢での買い物を目的とした来訪者に対する、施設内目的地までのルート案内
(実証では案内所やステージ等を目的地として設定予定)



- ✓ ARナビを通じて目的地まで誘導することで、従来の地図やナビよりも容易に移動可能になるかを検証

3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ

実証で用いるARナビのイメージ

ARナビでは目的地までのルート案内はもちろん、階段や大きな段差を経由しない交通弱者にやさしいナビゲーションおよび目的地の満空状態（非常時のみ、実証ではプリセット）まで提供

イメージ図

- 目的地までのルートがARを用いてより視覚的に表示・ナビゲーションされる

- 利用者の属性に応じて、階段や大きな段差を経由せずに移動できるルート（スロープ等）を優先的にナビゲーションする



- 目的地の満空状態が表示される ※実証実験ではプリセットのデータを用いる（非常時）

3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ

実証概要（平常時）

ルート①-A/ルート②

来訪者を対象とした、目的地へのスムーズなルート案内を、南大沢エリアの3D都市データを用いたARナビによって提供

ARナビによる実証実験が想定する利用イメージ



実証実験の概要

どのような状況か

- イベント等を目的とした南大沢への来訪者が、南大沢駅から目的地へ移動したいが、**目的地までの行き方/階段などを使わず移動できるルートが分からない**

誰が対象か

- (1) ベビーカー、杖を使つての歩行、車椅子など**階段や大きな段差の利用が困難な来訪者**、(2) 階段などの利用に困難を伴わない来訪者

どのような価値を提供するか

- 南大沢に不慣れな来訪者でも**目的地へ容易・安全に移動**することができる

どのようなサービスを提供するか

- ARナビ**をスマートフォン上で提供し、コンサート会場等の場所はもちろん、**階段や段差が少ないルート**をより視覚的に提供

どのルートで実証するか

- 南大沢駅前からフレスコ南大沢**までのルート
- 南大沢駅前から三井アウトレットパーク多摩南大沢**までのルート

3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ

実証概要（災害発生時）

ルート①-B

災害発生時の避難場所等への安全・容易なルート案内を、南大沢エリアの3D都市データを用いたARナビによって提供

ARナビによる実証実験が想定する利用イメージ



実証実験の概要

どのような状況か

- 南大沢エリアで**災害が発生**し、南大沢駅から最寄りの避難場所へ避難したいが**場所が分からない/階段などを使わず移動できるルートが分からない**

誰が対象か

- (1) ベビーカー、杖を使つての歩行、車椅子など**階段や大きな段差の利用が困難な住民・来訪者（交通弱者）**、(2) 階段などの利用に困難を伴わない住民・来訪者

どのような価値を提供するか

- 交通弱者の住民や来訪者でも**最寄りの避難場所等へ安全・容易に避難**し、身の**安全を確保**できる

どのようなサービスを提供するか

- ARナビ**をスマートフォン上で提供し、避難場所等の場所はもちろん、**階段や段差が少ないルートをより視覚的に提供**

どのルートで実証するか

- 南大沢駅前からフレスコ南大沢までのルート**

3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ

実証概要（駅南側ルート）

ルート①-A/B

駅前エリアからフレスコ南大沢へのルート案内を、平常時/非常時のシーンごとに、3D都市データを活用したARナビによるバリアフリールートにも着目して実施。※下記のルートは階段利用が困難な利用者向けのナビイメージ



※ルートは現時点の想定であり協議会での検討を通じて変更の可能性がある

3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ 実証概要（駅北側ルート）

ルート②

三井アウトレットパーク多摩南大沢での買い物を目的とした来訪者に対する、施設内目的地までのルート案内を3D都市データを活用したARナビにより実施



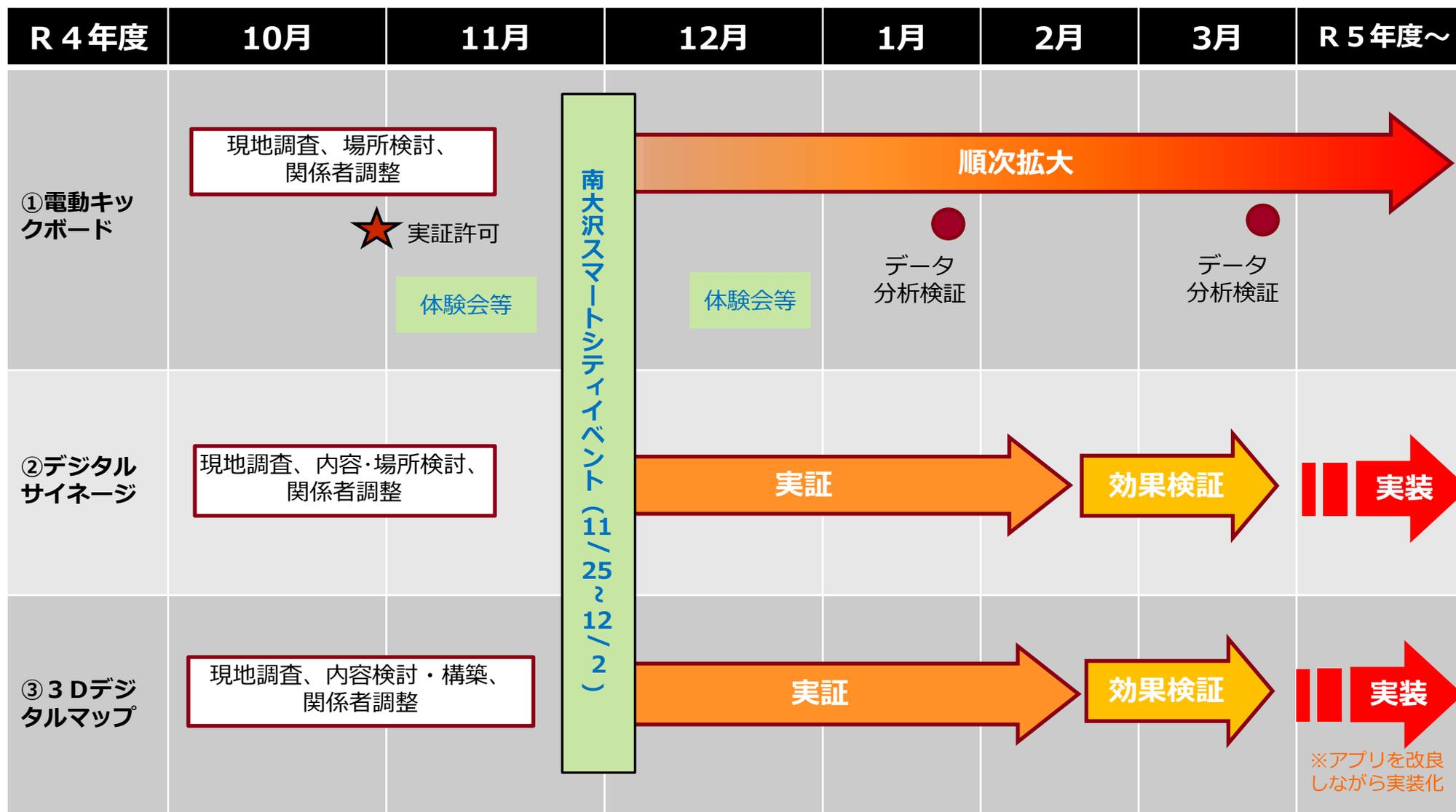
3. 本年度の実証内容 ③ 3Dデジタルマップ 効果検証の概要（案）

容易・安全な移動の実現に寄与したか、また利用の障壁やサービス維持・拡大への障壁を検証すべく、利便性・地域適合性・持続可能性の3つの観点から実証実験を検証する

When Where	日程・場所	2022年11月後半～2023年1月までで複数回 於 南大沢駅前
Why	目的	ARナビによる一連の体験を通じた①容易・安全な移動の実現と、②従来の地図・ナビと比較した優位性・課題の検証
Who	被験者	エリア熟知していない①交通弱者（交通弱者を模擬した実施を想定）、②南大沢駅周辺への来訪者 ※左記に加え自治体・事業者へもヒアリング
What 評価	利便性	起動から利用・閲覧・移動において利用の障壁はあるか？
	地域適合性	容易・安全な移動の実現に寄与したか？
	持続可能性	サービス維持・拡大のコストや、収益はバランスしているか？
How 検証方法	利便性	アンケート・ヒアリング調査：利便性に関わる確認
	地域適合性	アンケート・ヒアリング調査：用意・安全な移動に関わる確認（移動の難易度、平均移動時間の対比などを想定）
	持続可能性	マップ拡大、可視化対象、ルート追加等における難易度

※データ取得可能なものについてはデータを取得し、検証へ活用する

3. 本年度実証内容 実証スケジュール



※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

4. イベントの実施概要

イベントの実施概要

11月25日（金）から12月2日（金）までの8日間で南大沢スマートシティおよび実証実験等のPRを目的とした南大沢スマートシティイベントを開催する

目的	<ul style="list-style-type: none"> • R4年度の実証実験のPR・参加呼びかけ • 南大沢スマートシティのこれまでの取組の紹介
日程	<ul style="list-style-type: none"> • 11月下旬の週末での開催（11月25日（金）～12月2日（金）） • 初日の11月25日（金）13時00分よりオープニングイベントを開催
場所	<ul style="list-style-type: none"> • パオレ南大沢 <ul style="list-style-type: none"> • <u>ふれあい広場</u>：テントを設置するなどしたブースを設置（本年度実証の紹介・体験） ※同広場は12月1日までの利用となる • <u>パオレ施設内の一室</u>：南大沢スマートシティの取組を紹介した展示や動画放映 • ペDESTリアンデッキにて電動キックボードの紹介・体験試乗および小型モビリティ類の展示を実施
団体・企業 出展予定	<ul style="list-style-type: none"> • 南大沢スマートシティ協議会メンバーの団体・企業 <ul style="list-style-type: none"> • BRJ、（INFORICH社）、（Psychic VR Lab社） • 過去に南大沢スマートシティの取組において実証実験等に参画した団体・企業 <ul style="list-style-type: none"> • （出展予定）一般社団法人電気自動車普及会（APEV）、トヨタ自動車、トヨタ車体、セリオ、フランスベッド、ヤマハ発動機、スズキ、aidea、Open Street、avatarin、ashirase

※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

4. イベントの実施概要

イベント開催エリア俯瞰図

三井アウトレットパーク
多摩南大沢 ビームス前広場



ペDESTリアンデッキ
11/25(金)-11/29(火)



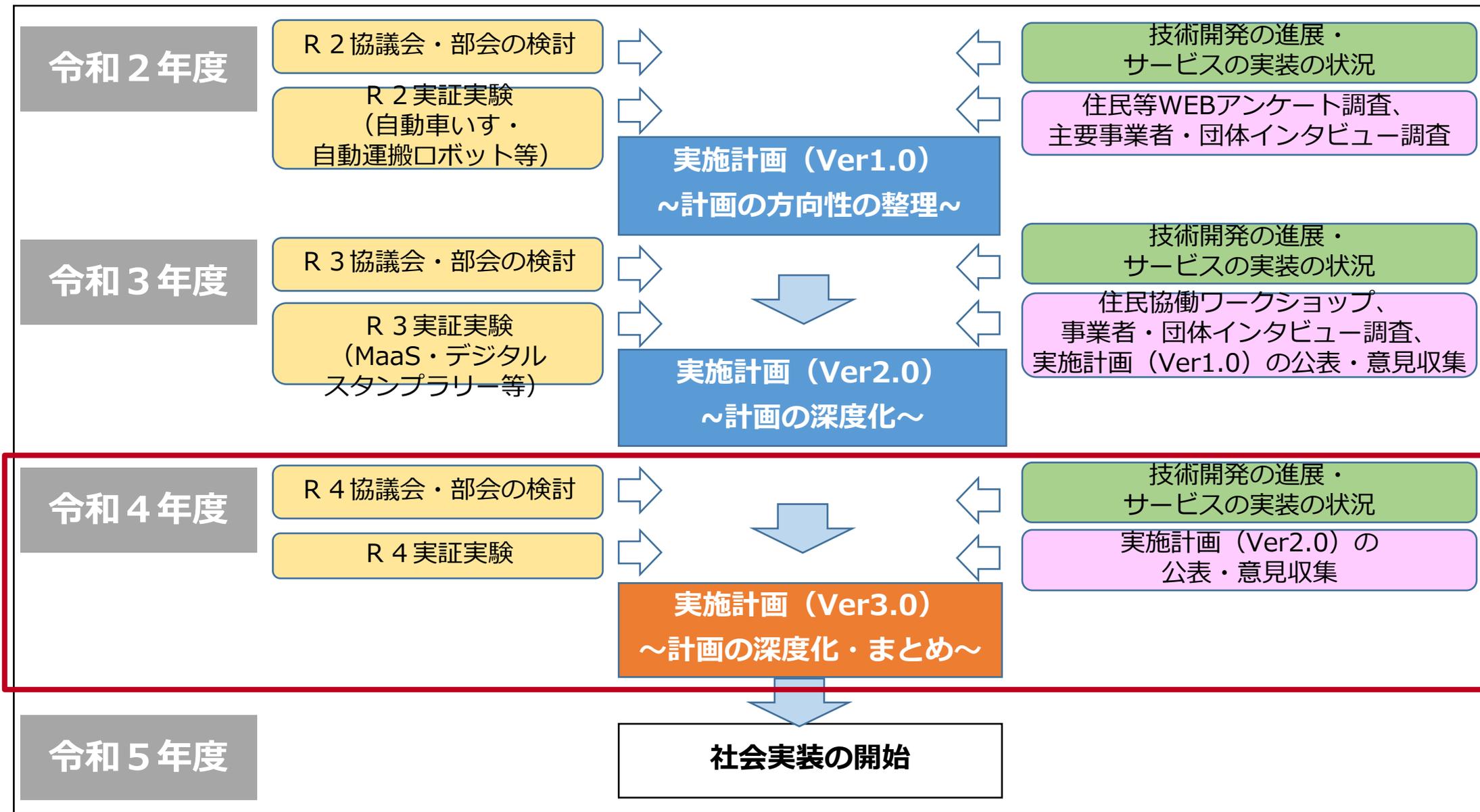
パオレ南大沢
ふれあい広場・5F会議室
11/25(金)-12/2(金)



南大沢駅

5. 南大沢スマートシティ実施計画（Ver3）の改定方針

（参考）南大沢スマートシティ実施計画の改定



5. 南大沢スマートシティ実施計画（Ver3）改定方針

実施計画（Ver3）改定方針

実施計画Ver2を基本としつつ、適宜で情報の更新や新章の追加を予定

主な改定箇所（案）

南大沢スマートシティ実施計画Ver 2～計画の深度化～ 目次

1	概要	5
2	地域の概況	10
3	地域のニーズ	44
4	地域の将来動向・計画	66
5	地域の課題	77
6	スマートシティの今後の方向性	82
7	実現イメージとロードマップ	124
8	実証実験	139
9	実施・運用体制イメージ	155
10	今後の展開と課題	172
補足	実施計画（Ver 1）への意見と対応	175

•地域の概要、ニーズ、将来動向・計画、地域の課題、スマートシティの今後の方向性の各章は、データの更新・補足の分析追加、内容の見直し等、適宜改定

•R5年度以降のロードマップ・マイルストンの見直し・追加

•過去3か年の実証実験を踏まえた社会実装の対象施策、実装の進め方を追加

•ICTインフラについてはR5年度以降の取組方針を追加
(東京都との進めるデータプラットフォームの取組も踏まえた方針を策定)

新章追加

•R5年度以降の実施・運用体制を定義

•R5年度以降の取組における課題があれば追加

•参考資料へ先進事例（会津若松スマートシティ等）等の追加

追加

“南大沢駅周辺地区まちづくり方針”とも連携し、必要事項があれば追加

※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり